



## 3 月 度 議 員 懇 談 会

# 電力小売の全面自由化について懇談

3

1

3 月 度 議 員 懇 談 会  
を 3 月 1 日 に 開 催  
し た。

開会の挨拶で川田会頭は「年



明け早々、一転して株安円高の状況にあり、先行きは厳しい状況にある。そのような中、先日日銀からマイナス金利の導入が発表された。

厳しい状況には違いはないが、金融機関の積極的な融資が中小企業の事業活動活性化につながってほしい」と現在の経済状況について期待を示した。

続いて、近畿経済産業局資源エネルギー環境部電源開発調整官の蘭利彦氏より「電力小売の全面自由化」をテーマに卓話が行われた。

### 全面自由化までの推移

対象需要家 (イメージ)	2000年3月~	2004年4月~	2005年4月~	2016年4月~
大規模工場 [2,000kw]	自由化部門 (電力量26%)	自由化部門 (電力量40%)	自由化部門 (電力量62%)	全面自由化
中規模工場 [500kw]	規制部門 (電力量74%)		※電力量は13年度	
小規模工場 スーパー 中小ビル		規制部門 (電力量60%)		
コンビニ 町工場 家庭			規制部門 (電力量38%) ※電力量は13年度	

(注) 需要家保護のため、経過措置として料金規程を残す。(需要家は、当面、規制料金も選択できる。)

資料出所：近畿経済産業局 蘭氏

今年の4月1日から始まる電力小売の全面自由化について、これまで段階的に進んできた経緯や目的を踏まえ説明。「多様なメニューから自由に選べるようになるので、ライフスタイルに合った料金体系を選ぶことができる。しかし、悪質な事業者が現れることも予想される上に、事業所の場合はクーリング・オフ制度の対象とならないので気を付けなければならない」と注意を促した。



電力小売の自由化による電力システム改革後の姿について語る蘭氏

次に、福井商工会議所経営支援・人材育成課の安岡課長より、平成27年度補正・28年度予算における中小企業対策の概要について補助金の説明が行われた。ものづくり、省エネ、小規模事業者持続化について、申請書作成相談窓口を当所に設けており、積極的な活用を呼びかけた。(詳細は、11・12ページをご覧ください)  
最後に、各課より開催予定のセミナーや創業支援の取り組みなどについて報告した。